

回 覧



裾野市立富岡中学校
学校だより
令和5年10月23日
第6号

「学び」でも実りの秋を

秋といえば、何を連想するでしょう。あるアンケートの結果では、「サンマ」が1位となっていました。この時期のサンマは脂がのっておいしいです。ひと昔前までは手軽に食べられる庶民の味でしたが、今ではかなり高価になっています。2位は紅葉ですが、3位に栗、4位にマツタケ、5位に柿とおいしそうなのが続きます。様々な作物が実りの季節を迎えます。

さて、10月17日より第3ステージがスタートしました。第3ステージのテーマは「学び」です。大きな行事が終わり、気候も涼しくなり、学習に集中して取り組むには最適の環境となりました。今まで以上に学びを充実させ、様々な資質や能力を磨き、学習においても「実りの秋」を迎えられるようにしたいです。さて、私たちは、何のために学ぶのでしょうか。進路選択を控える中学生なら、「志望する高校に入るため」「希望する職業に就くため」といった回答が多いのではないのでしょうか。また、漠然と「将来のため」と感じている人も多いでしょう。その通りだと思います。学びとは、目標に向け、自己の能力を高める営みであると感じています。学ぶことができれば、どのような夢をも叶えることができるでしょう。まずは、身近なところに目標をもち、成し遂げることで学ぶことの素晴らしさを実感してほしいです。日々の授業では「学習課題をクリアする」「疑問を解決する」等、定期テストに向けては「〇割の正答率を目指す」等、各自が目標を意識するところからスタートです。日々の授業、家庭学習の積み重ねを大切にしてほしいです。

学びは、夢の実現だけでなく、生活に潤いをもたらします。校庭に咲ききれいな花の名前を知ること、サンマの値段が上昇している理由を調べること等、あまり必要がないことかもしれません。でも、疑問に思ったことを解決することで、心は大きく満たされます。テスト勉強とは一味違う学びが身近なところにもたくさんあります。そんな学びも重ねられたら素敵です。

日々の授業、家庭学習、そして、自分の興味・関心を生かした学び。富中生の皆さんが、これらの学びを充実させ、実りの秋を迎えられるように学校全体でサポートしていきたいです。



学びを充実させるために 「1日総合の日」 11月1日(水) 2日(木)

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標にしています。変化の激しいこれからの時代においては、ますます重要な役割を果たします。外部の方を招いたり、学校を出ての体験を行ったりできるよう、まとまった時間を設定しました。それが「1日総合の日」になります。各学年の活動予定を簡単に紹介します。

【1年生】職業講話

1日目：企業や事業所の方を招き、仕事の内容、課題等について、お話をうかがいます。

2日目：自衛隊の方を招き、仕事の内容、課題等について、お話をうかがいます。(防災も含めて)

【2年生】職場体験

1日目・2日目：協力してくださる各事業所で、働く体験を行います。

【3年生】探究学習「裾野市への提言」

1日目：「裾野市の提言」まとめ・発表準備 … 裾野市の抱える課題や未来について考えます。

2日目：「裾野市の提言」発表会 … まとめた提言を発表します。

感染症(新型コロナ・インフルエンザ)の扱いが一部変更されます

10月19日付の市教育委員会からの文書により、出席停止の扱いが一部変更されました。

【変更点】 ◎適用は23日(月)からになります。

- 1, 体調不良が見られる場合について
 - ・感染症と判明していない場合は「欠席」となります。
 - ・病院を受診し、新型コロナやインフルエンザへの罹患が判明した場合には、症状が出た日にさかのぼって、出席停止となります。
 - ※発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合は、念のため自宅で療養することを推奨します。特に、発熱が見られる場合は、無理をして登校することのないよう、お願いします。
- 2, 濃厚接触者について
 - ・濃厚接触者としての特定は行いません。同居している家族が新型コロナウイルス感染症やインフルエンザに感染した場合でも、特に本人に症状がなければ出席停止とはなりません。

2023年第40週(10/2~10/8)の感染症発生動向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり患者報告数が10.08人に増加し、**注意報レベル**の基準値(定点当たりの患者報告数10人)を超えました。今後さらに流行が拡大するとともに長期間持続することも考えられますので、手洗い等の感染拡大防止対策に努めていただくとともに、体調が悪い時には無理をしないようにお願いします。

※インフルエンザの定点当たりの報告数とは、県内の小児科、内科併せて139の定点医療機関1医療機関当たりの1週間の患者数です。

青嶺祭 ~富中生が「熱く温かく」活躍しました~

9月29日(金)に青嶺祭ステージの部が、そして、10月14日(土)に青嶺祭体育の部が開催されました。生徒会本部が実行委員となり、全校で準備や練習を進め、当日を迎えました。

笑いを誘いながらも青嶺祭への熱い思いを表現した生徒会セレモニーからスタートしたステージの部。共生社会への思いをわかりやすく訴えたわたしの主張、素晴らしい発音と表現力を発揮した英語スピーチ、会場を熱く盛り上げた吹奏楽部の演奏やダンス同好会の発表等、日頃の学習や練習の成果がよく発揮されていました。また、一生懸命さがよく伝わってきた1年生の合唱、パワフルな歌唱で熱く競い合った2年生の合唱、そして、聞き手に大きな感動をもたらした3年生の合唱等、各学級が仲間と力を合わせ、真剣に練習に取り組んできた成果がうかがえる内容でした。



爽やかな快晴の中で行われた体育の部は、本気で各カラーが競い合う姿に感動を覚えました。団結種目で見せた一体感のあるパフォーマンスは、3年生がリーダーシップを発揮し、各カラーともよく工夫を凝らして仕上げてきました。

ステージの部、体育の部とも、賞や順位はついていますがどのカラーも当日までに築きあげた努力や絆には、決して差はありませんでした。また、発表や競技だけでなく、運営や準備にも、生徒たちの力が存分に発揮されていました。富中生が、熱く温かく活躍した青嶺祭となりました。

駐車場や見回り等で青嶺祭を支えてくださったPTA役員の皆様、温かい声援をかけてくださった保護者や地域の皆様、御支援、御協力ありがとうございました。

